

【第 1 号議案】 福岡・マレーシア友好協会 令和 5 年度 事業報告

開催日	行事	内容	会場
(令和 5 年)			
4 月 10 日	FUKUNET 国際関係交流団体 連絡会議	・会員団体の活動紹介 ・講演、ディスカッション等	オンライン (Zoom)
6 月 6 日	正副会長会議	・理事会総会に向けた資料確認 ・令和 5 年度事業計画・収支予算に関して ・会費に関する確認	APCC 事務局
6 月 30 日	理事会・総会	・令和 4 年度 事業報告／収支決算報告 ・会則変更に関する事項 ・令和 5 年度 事業計画／収支予算計画 ・役員の選任に関する事項	リファレンス大博多 1107 会議室
(同日)	懇親会	・役員・会員と、在福マレーシア人との交流	うお田 (福岡市博多区)
9 月 13 日	FUKU-NET 創立 35 周年フレンドシップ フェスティバル事前説明会	・FUKU-NET35 周年および第 200 回 連絡会の記念事業の説明会	オンライン (Zoom)
10 月 25 日	ナショナルデー祝賀会	記念講演： 「ツバメの巣で世界を変える ～なぜ、ジャングルまで行くのか～」 講師：エムスタイルジャパン株式会社 代表取締役社長 稲富 幹也 氏 ・マレーシア留学生代表スピーチ： Bean Nakamura 氏 ・在福マレーシア人との交流会 ※次ページに、当日の様子紹介あり	クアンティック天神

(その他)

- ・8 月 : 会員の皆様へ、年会費のご案内
- ・11 月 : 11 月 2 日開催「宮津大輔先生特別授業 マレーシア映画視聴会」告知協力（協会会員・専門学校日本デザイナー学院様よりご依頼）

■令和5年度 福岡・マレーシア友好協会 ナショナルデー祝賀会 報告

会場：クアンティック天神 オンザビーチ（福岡市中央区天神）

参加者：参加者 77 名（日本人 31 名、マレーシア人：46 名）



（会場の様子）



（稲富 幹也氏による記念講演）



（マレーシア留学生代表・Bean 氏 あいさつ）



（稲富氏 講演の様子）



（ご参加の皆様）



（参加したマレーシア留学生の様子）

決算報告書

第 35 期

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

福岡・マレーシア友好協会

福岡・マレーシア友好協会 令和5年度 収支決算報告

自 令和5年 4月 1日

至 令和6年 3月 31日

(単位:円)

科 目		R5年度予算額 (A)	R5年度決算額 (B)	差異 (A)-(B)	備 考
収入の部	I. 事業費				
	会 費 収 入	922,000	880,000	42,000	特別法人会員 : ¥430,000 法人会員 : ¥390,000 個人会員 : ¥60,000
	事 業 収 入	650,000	440,000	210,000	総会懇親会費:¥150,00(10,000×15名) ナショナルデー会費:¥290,000(10,000×29名)
	助 成 金	0	0	0	
	雑 収 入	12,100	15,017	-2,917	普通預金利息:¥17、 当年度以外の年会費:¥15,000
合 計		1,584,100	1,335,017	249,083	
支出の部	I. 事業費				
	① 会 議 費	50,000	43,961	6,039	理事会・総会、等
	② 交 流 事 業 費	622,500	835,731	-213,231	総会懇親会費:¥150,000(10,000×15名) 懇親会留学生参加分補填:¥50,200 ナショナルデーの交流会開催費:¥612,650 横断幕・名札代:¥22,881
	③関係団体助成費	12,500	12,500	0	福岡市姉妹都市委員会:¥10,000 FUKU-NET年会費:¥2,500
	④ 視 察 団 派 遣 費	0	0	0	
	⑤ 講 座 運 営 費	0	0	0	
	⑥ 情 報 化 推 進 費	50,000	44,000	6,000	ホームページ管理費、等
	⑦ 委 員 会 費	50,000	0	50,000	福岡・マレーシアネットワーク委員会活動費
	II. 管理費				
	① 通 信 費	40,000	29,586	10,414	郵送費、電話代 等
	② 交 通 費	5,000	1,040	3,960	事務局交通費
	③ 印 刷 費	20,000	68,110	-48,110	コピー代、事務局移転に伴う協会封筒製作費、等
	④ 事 務 委 託 費	600,000	600,000	0	事務局業務委託費
	⑤ 雑 費	50,000	44,726	5,274	会計顧問料、振込手数料、等
合 計		1,500,000	1,679,654	-179,654	
収支差額		84,100	-344,637	-260,537	
前年度繰越金		1,818,563	1,818,563	0	
次年度繰越金		1,902,663	1,473,926	428,737	

貸借対照表

令和6年 3月 31日 現在

福岡・マレーシア友好協会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,473,926	1,862,893	-388,967
流動資産合計	1,473,926	1,862,893	-388,967
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	1,473,926	1,862,893	-388,967
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	44,330	-44,330
流動負債合計	0	44,330	-44,330
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	44,330	-44,330
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	1,473,926	1,818,563	-344,637
正味財産合計	1,473,926	1,818,563	-344,637
負債及び正味財産合計	1,473,926	1,862,893	-388,967

財産目録

令和6年 3月31日現在

〔資産の部〕

1. 預金 普通預金

福岡銀行 博多駅前支店 No.2305580
西日本シティ銀行 本店営業部 No.0987920

709,032

764,894

小計

1,473,926

資産の部

合計

1,473,926

〔負債の部〕

負債の部

合計

0

〔正味財産の部〕

1. 正味財産

一般正味財産

1,473,926

正味財産の部

合計

1,473,926

〔負債・正味財産の部〕

合計

1,473,926

監査報告

令和5年度 収支決算書・貸借対照表 及び 財産目録等を監査した結果、
いずれも正確かつ妥当なものと認めます。

令和6年 4 月 23 日

監事 草場 龍太郎 

監事 大島 輝久 

【第 2 号議案】福岡・マレーシア友好協会 令和 6 年度 事業計画（案）

1. 活動方針

（1）目的

福岡とマレーシアとのより一層の相互理解、友好、及び 文化・ビジネス交流の推進を図る

（2）目標

マレーシアとのネットワークを強化する

（3）内容

- a) マレーシアに精通した企業や個人を掘り起こし、会員の充実を図る
- b) マレーシアと福岡との交流の機会を積極的に提供すると共にあらゆる交流の場に積極的に参画する
- c) 在福岡マレーシア人との交流の機会を創出する
- d) 在福岡マレーシア人（留学生等）の支援を行う

2. 主要行事（対面）

- ・理事会、総会の開催（令和 6 年度：6 月 5 日(水) 開催）
- ・正副会長会議の開催（適宜）
- ・ナショナルデーの交流会（令和 6 年度：10 月 30 日(水) 開催予定）

3. その他

- ・ネットワーク委員会を設置し、在福岡マレーシア人と福岡に住む日本人をつなぎ、交流の機会を設ける
- ・会員増強を行い、事業の活性化を図る
- ・近隣諸国の友好協会との連携を図る（例：九州・ブルネイダルサラームクラブ、福岡・シンガポール友好協会）

資料4

福岡・マレーシア友好協会 令和6年度 収支予算(案)

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月 31日

(単位:円)

科 目		令和6年度予算額	令和5年度決算額	令和5年度予算額	備考
収入の部	I. 事業費				
	会 費 収 入	850,000	880,000	922,000	法人会員:30,000×13口=390,000 法人特別会員:100,000×4口=400,000 個人会員:3,000×20口= 60,000
	事 業 収 入	435,000	440,000	650,000	総会懇親会費(6月):5,000×15名=75,000 ナショナルデー会費:12,000×30名=360,000
	助 成 金	0	0	0	
	雑 収 入	3,000	15,017	12,100	普通預金利息、前年度年会費回収分
	合 計	1,288,000	1,335,017	1,584,100	
支出の部	I. 事業費				
	① 会 議 費	50,000	43,961	50,000	理事会・総会会場費等
	② 交 流 事 業 費	375,000	835,731	622,500	総会懇親会費(6月):5,000×15名=¥75,000 ナショナルデーの交流会開催費:¥300,000
	③ 関係団体助成費	12,500	12,500	12,500	福岡市姉妹都市委員会、FUKU-NET年会費
	④ 視 察 団 派 遣 費	0	0	0	
	⑤ 講 座 運 営 費	0	0	0	
	⑥ 情 報 化 推 進 費	50,000	44,000	50,000	ホームページ管理費 等
	⑦ 委 員 会 費	0	0	50,000	福岡・マレーシアネットワーク委員会活動費
	II. 管理費				
	① 通 信 費	35,000	29,586	40,000	郵送費
	② 交 通 費	2,000	1,040	5,000	会議開催等に伴う交通費
	③ 印 刷 費	50,000	68,110	20,000	コピー代、協会封筒製作費 等
	④ 事 務 委 託 費	600,000	600,000	600,000	事務局業務委託費
	⑤ 雑 費	50,000	44,725	50,000	会計顧問料、振込手数料 等
	合 計	1,224,500	1,679,653	1,500,000	
収 支 差 額		63,500	-344,636	84,100	
前年度繰越金		1,473,927	1,818,563	1,818,563	
次年度繰越金		1,537,427	1,473,927	1,902,663	

【第 3 号議案】 役員の選任に関する事項

1. 副会長、理事、監事

【新任（交代）】

＜敬称略＞

協会役職	会社名	役職	氏名	補足
副会長	学校法人 福岡大学	学長	永田 潔文	（前任）朔 啓二郎
監事	株式会社 福岡銀行	地域共創部 部長	大島 輝久	（前任）山内 徳一
監事	株式会社 西日本シティ銀行	地域振興本部 主任調査役	草場 龍太郎	（前任）徳留 正幸

2. 特別会員

【新任（交代）】

協会役職	会社名	役職	氏名	補足（前任）
顧問	九州運輸局	観光部 部長	進藤 昭洋	（前任）西畑 知明
顧問	独立行政法人 日本貿易振興機構 福岡事務所	福岡所長（九州・沖縄地域 統括センター長）	古川 毅彦	（前任）森 則和
顧問	一般社団法人 九州経済連合会	常務理事	田中 徹	（前任）堀江 広重

【退会による退任】

協会役職	会社名	役職	氏名	補足
顧問	株式会社 西日本新聞社	代表取締役社長	柴田 建哉	2023 年 8 月退会

福岡・マレーシア友好協会 これまでの活動実績

1985 年	4 月 1 日 福岡・マレーシア友好協会設立 田中義明会長 就任 7 月 13 日～19 日 協会設立記念表敬訪問団（第 1 回）派遣 11 月 2 日～9 日 交流経済交流訪問団（第 2 回）派遣
1986 年	8 月 4 日 カミル駐日大使来福交流会 11 月 30 日～2 日 マレーシア ペラ州 アズラン・シャー国王来福
1990 年	3 月 28 日～4 月 1 日 福岡少年少女マレーシア友好使節団
1993 年	4 月 9 日～11 日 アズラン・シャー国王・同妃両陛下 来福 歓迎夕食会 8 月 6 日～11 日 ホームステイ訪問団 派遣 8 月 27 日～9 月 1 日 視察団派遣（第 3 回） 11 月 19 日 マレーシア・イポー市長 来福 歓迎の夕べ
1994 年	4 月 22 日～27 日 視察団派遣（第 4 回） 11 月 25 日～30 日 視察団派遣（第 5 回）
1995 年	6 月 17 日 権藤会長マレーシア国勲章授与式典 7 月 16 日～21 日 視察団派遣（第 6 回） 11 月 12 日～17 日 視察団派遣（第 7 回）
1996 年	11 月 15 日～20 日 視察団派遣（第 8 回）
1998 年	3 月 6 日～11 日 中経協との共催で視察団派遣（第 9 回）
2000 年	3 月 19 日～23 日 九州・ブルネイ・タラームクラブとの共催で視察団派遣（第 10 回）
2001 年	3 月 4 日～11 日 視察団派遣（第 11 回）
2002 年	3 月 6 日 マレーシア新国王 即位記念祝賀会 3 月 29 日 ペナン州 副主席大臣 歓迎夕食会 9 月 15 日～22 日 視察団派遣（第 12 回）
2003 年	1 月 27 日 グローバル・ユース・エクスチェンジ事業歓迎会 3 月 13 日 マレーシア国際通商産業省 ラフィダ・アジズ大臣 来福レセプション
2004 年	12 月 15 日 マレーシア民族舞踊団 来福公演
2005 年	9 月 26 日 マレーシア貿易開発公社との昼食会
2006 年	2 月 28 日～3 月 4 日 創立 20 周年記念視察団（第 13 回） 5 月 27 日 マレーシア首相歓迎レセプション 11 月 2 日 国際交流基金 ハフィズ氏 特別昼食講演会
2007 年	11 月 2～5 日 マレーシア国際駅伝大会 2007 参加 11 月 24 日 マレーシア舞踊団 来福公演
2008 年	10 月 15 日 マレーシア駐日大使ご夫妻と留学生と懇親ボウリング大会 11 月 6 日～11 日 マレーシア青年研修受入事業 代表団来福 11 月 21 日 マレーシア民族舞踊団 来福公演
2009 年	11 月 24 日 マレーシア民族舞踊団 来福公演
2010 年	2 月 9 日～14 日 設立 25 周年記念視察団（第 14 回） ※次ページに詳細あり
2012 年	1 月 17 日～22 日 マレーシア青年研修受入事業 代表団来福
2013 年	11 月 13 日 ナショナルデー祝賀会 ※次ページに詳細あり
2014 年	11 月 9 日～13 日 マレーシア視察団派遣
2015 年	福岡・マレーシア友好協会刷新委員会設立
2016 年	設立 30 周年記念事業ならびにナショナルデー祝賀会 2016 開催 駐日大使ご夫妻ご臨席
2019 年	福岡－クアラルンプール線（エアアジア）の運航開始に尽力
2023 年	10 月 25 日 ナショナルデー祝賀会 開催（会場：クアンティック天神にて）

※2010年 2月9日～14日 設立25周年記念視察団（第14回）

当協会の松永 守央会長（当時・九州工業大学学長）を団長、岩本 仁理事（現・副会長、福岡成蹊学園理事長）を副団長として、マレーシア視察団を派遣しました。ジョホールバルイスカンダル計画経済視察をはじめ、マレーシア日本大使館訪問、マレーシア日本人商工会議所との交流などを通じてマレーシアの経済文化への理解がより深められ、今後の両国の友好関係継続に繋がる意義のある大きな訪問となりました。

日時	平成22年11月9日（日曜日）～13日（木曜日）
行程	11月9日（日）…（移動）福岡～バンコク～シンガポール～ジョホールバル 11月10日（月）…ジョホールバルイスカンダル計画経済視察、イオンショッピングセンター 11月11日（火）…JETRO クアラルンプール事務所、ソフィアカルチャーセンター、マレーシア日本大使館 マレーシア日本人商工会議所との夕食懇談会 11月12日（水）…マレーシア派閥 PAVILION グループ、昼食会 11月13日（木）…（移動）クアラルンプール～バンコク～福岡

※近年のナショナルデー祝賀会

・2013年 ナショナルデー祝賀会（2013年11月13日）

西鉄ソラリアホテルにて、マレーシアセミナー及びナショナルデー祝賀会2013を開催しました。

マレーシアセミナーでは、第1部を、中小機構基盤整備機構 国際化支援専門員 加藤 洋一郎氏を迎え、「中小企業の為の海外展開のポイント（マレーシアとその周辺国）」をテーマに現在のマレーシアの経済状況や進出先としての可能性等について、ご講演いただきました。第2部では、マレーシア政府観光局 スハイミ・シャハルディン支局長を迎え、ご挨拶をいただいた後、同局・清水貴美子氏より「マレーシア観光年2014 マレーシアの魅力」をテーマに、観光地としてのマレーシアの魅力をご講演いただきました。祝賀会には、マレーシア国名誉総領事館 大塚 基博名誉総領事、マレーシア政府観光局 ロスハイミ・シャハルディン支局長、マレーシア投資開発庁・大阪事務所 ユスリ・ジャマル副所長を御来賓に迎え、福岡のマレーシア留学生10名にはダンスを披露していただき、交流を深め、盛会となりました。

・2014年度 ナショナルデー祝賀会（11月21日）

西鉄グランドホテル「鳳凰」の間にてナショナルデー祝賀会を開催しました。当日は来賓に、駐日マレーシア大使館 ヘンディ・アッサン臨時代理大使、マレーシア国名誉総領事館 大塚名誉総領事をお迎えしました。11月9日～13日に派遣したマレーシア国視察団の報告会も行なわれました。留学生も含めて42名に参加頂き、盛会のうちに終えることができました。



・2017年度 ナショナルデー祝賀会（10月2日）

西鉄グランドホテルにてナショナルデー祝賀会を開催しました。当日は来賓に、マレーシア政府観光局大阪支局ソレフディン・アハマド支局長、福岡市市長代理吉安真一総務企画局国際部アジア連携課長をお迎えしました。また、記念講演の講師に一般社団法人九州経済連合会麻生泰会長をお招きし「煮詰まる日本市場、伸びゆくASEANとの連携」についてご講演いただきました。今年度は、留学生を含めて約90名にご参加頂き、盛会のうちに終えることができました。



講演者 プロフィール

Speaker's Profile

木村 政信 氏

日本サンダイン株式会社

代表取締役社長

福岡・マレーシア友好協会 理事

日本サンダイン株式会社

1954 年(昭和 29 年)創業

1972 年(昭和 47 年)設立

創業以来、迅速・正確・親切を基軸とし、
環境に配慮した工業用品の製造・加工・販売、
日用品の卸販売などを行う。

中でもまな板は 50 年ほど前から取り扱っており、
全国の百貨店での実演販売や路上でのアンケートを通してお客様の声を耳にし、
時代のニーズに合わせた合成ゴムまな板をヒット商品として世に送り出してきた。



エヌエスマレーシア (NS MALAYSIA Sdn.Bhd.)

2012 年(平成 24 年)設立

<主な事業> 点字タイルの製造



福岡・マレーシア友好協会 令和6年度 役員名簿

(令和6年度 総会時点、敬称略)

顧問	服部 誠太郎	福岡県	知事
顧問	高島 宗一郎	福岡市	市長
顧問	武内 和久	北九州市	市長
顧問	桑野 龍一	福岡県中小企業団体中央会	会長
顧問	花田 稔之	福岡県商工会連合会	会長
顧問	進藤 昭洋	九州運輸局	観光部部長
顧問	石橋 達朗	九州大学	総長
顧問	奈良 弘之	独立行政法人 日本貿易振興機構 北九州貿易情報センター	所長
顧問	吉成 安恵	独立行政法人 国際協力機構	九州センター 所長
顧問	古川 毅彦	独立行政法人 日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター	所長
顧問	平塚 伸也	公益社団法人 福岡貿易会	専務理事
顧問	田中 徹	一般社団法人 九州経済連合会	常務理事
顧問	安川 仁	株式会社 九電工	執行役員
顧問	倉富 純男	西日本鉄道株式会社	代表取締役会長
顧問	久保田 勇夫	株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス	取締役会長
顧問	松尾 新吾	九州電力株式会社	特別顧問
会長	松永 守央	公益財団法人 北九州産業学術推進機構	理事長
副会長	大野 祐子	株式会社 ビジネスリファイン	代表取締役社長
副会長	田中 勉	株式会社 正興電機製作所	取締役 常務執行役員
副会長	橋本 上	九州電力株式会社	常務執行役員 都市開発事業本部長
副会長	岩本 仁	学校法人 福岡成蹊学園 福岡外語専門学校	理事長
副会長	永田 潔文	学校法人 福岡大学	学長
副会長	廣瀬 兼明	公益財団法人 オイスカ西日本研修センター	所長
理事	末次 隆	西部ガスホールディングス株式会社	執行役員 総務広報部長
理事	志賀 健一	濱田重工株式会社	執行役員 (総務・人事担当)
理事	山崎 仁	三菱商事株式会社 九州支社	支社長
理事	辻 慎一	九州電力株式会社	地域共生本部 総務部長
理事	木村 政信	日本サンダイン株式会社	代表取締役社長
理事	田平 裕隆	エース印刷株式会社	代表取締役
理事	島 祐二郎	マレーシア市民の会	会長
理事	竹熊 真波	筑紫女学園大学	文学部 アジア文化学科 教授
理事	西川 ともゑ	博多石焼大阪屋	取締役会長
理事	宋 成烈	学校法人九州呉学園 専門学校 日本デザイナー学院	理事長
監事	大島 輝久	株式会社 福岡銀行	地域共創部 部長
監事	草場 龍太郎	株式会社 西日本シティ銀行	地域振興本部 主任調査役

福岡・マレーシア友好協会 会則

(名称)

第 1 条 この会は、福岡・マレーシア友好協会 (Fukuoka・Malaysia Friendship Association) という。

(事務所)

第 2 条 この会の事務所は、福岡市に置く。

(目的)

第 3 条 この会は、福岡とマレーシア間の相互理解を深め、文化及び経済の交流促進を目的とする。

(事業)

第 4 条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 経済協力及び技術協力の推進
- (2) 文化及び経済関係者の相互交流
- (3) 在福岡マレーシア人及び留学生、技術研修生等との交流
- (4) 交流促進のための研究会、講演会等の開催
- (5) 情報及び資料の交換
- (6) その他、この会の目的達成に必要な事業

(入退会)

第 5 条 この会の会員は、特別会員、正会員(法人、個人)及び学生会員とする。

2 入会については、次の項目に合致する時、事務局が入会届を受理した時点で入会することができる。

- (1) 協会の目的に賛同する法人、団体または個人であること
- (2) 新規入会希望者については会員 1 名以上の推薦があること。推薦者がいない場合には会長、または、副会長との面談を行うこと

3 退会については、会員が各項の一つに該当する時、または事務局が退会届を受理した時点で退会させることができる。

- (1) 退会の申出があった場合
- (2) 死亡、破産、廃業または解散した場合
- (3) 協会の目的に反する行為があったとき、その他会員としてふさわしくないと認められた場合
- (4) 所定の会費を 3 年以上滞納し、納入の勧告に従わない場合

(休会)

第 6 条

- 2 休会を希望する者は、所定の休会届を事務局に提出する。休会は年度単位とし、原則として連続2年度までとする。年会費の納入は不要であり、期間中は協会からの案内等は一切行わないものとする。

(会費)

第 7 条 この会の会費は、次のとおりとする。

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 特別会員 | 年 額 無 料 |
| (2) 正会員（特別法人） | 年 額 1 0 万 円 |
| (3) 正会員（法人） | 1 口（年 額 3 万 円）以上 |
| (4) 正会員（個人） | 1 口（年 額 3 千 円）以上 |
| (5) 学生会員 | 年 額 無 料 |

※入会時に期の残り期間が半年未満の場合は、半額とする。

※退会する際は、未納分の年会費すべてを納入する義務がある。

(役員)

第 8 条 この会に、次の役員を置く。

- | | | |
|-----|-----|--------------------|
| (1) | 会 長 | 1 名 |
| (2) | 副会長 | 若干名 |
| (3) | 理 事 | （会長、副会長を含む）3 5 名以内 |
| (4) | 監 事 | 3 名以内 |
- 2 理事及び監事は、総会において正会員のうちから選出する。
 - 3 理事のうちから会長及び副会長を互選する。

(役員任期)

第 9 条 役員任期は、2 年とし、期間は4月1日から翌々年の3月31日までとし、再任は妨げない。

(役員職務)

第 10 条 会長は、この会を代表し会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 名誉会長及び顧問は、この会の運営に関して会長の相談に応じる。
- 4 監事は、会計及び会務執行の状況を監査する。

(総会)

第 11 条 総会は、年 1 回以上会長が招集し、次の事項について議決する。

- (1) 事業計画
- (2) 予算及び決算
- (3) 役員の選出
- (4) その他重要な事項

(理事会)

第 12 条 理事会は、理事をもって構成し、この会の主要な事項について審議決定する。

理事会は、次のとおりに行う。

- (1) 理事会は、理事をもって構成する。監事は理事会に出席して意見を述べることができる。
- (2) 理事会は、総会に付議する重要議案、および協会の活動に関する事項等を審議し、決定する。
- (3) 理事会は会長がこれを招集し、会長が議長の任にあたる。
- (4) 理事会の日程がとれない場合、書面による理事会を開催し、承認を得るものとする。

(議決)

第 13 条 総会および理事会の議決は出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長が決する。なお、出席できない場合は委任状により議決権の行使を委任することができる。

但し、学生会員・特別会員は議決権を有しない。

(名誉会長・顧問)

第 14 条 この会に、名誉会長及び顧問を置くことができ、次の事項を定める。

- 2 任期は定めず、議決権は有しない。

(会計)

第 15 条 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(委任)

第 16 条 この会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この会則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

この会則は、令和 4 年 7 月 15 日から施行する。

この会則は、令和 4 年 10 月 28 日から施行する。

この会則は、令和 5 年 6 月 30 日から施行する。

オイスカ・ふれあいの翼 2024 マレーシア・サバ州ツアー（7日間）

基本旅行代金 **279,000 円**

2024 年 8 月 16 日(金)出発

マレーシア・サバ州では、オイスカの研修センターの活動視察と、OB 研修生の活躍を実感していただきます。豊かな大自然と素朴で明るいサバの人達との交流も魅力です。



月日 (曜日)	発着 滞在地	時間	交通 機関	スケジュール<宿泊地>	食 事
1 8月16日 (金)	福岡発 仁川発	14:20 17:15 21:35	LJ	福岡空港出発 空路韓国経由でコタキナバルへ コタキナバル着、ホテル泊	夕：機内
2 8月17日 (土)	コタキナバル ラナウ	8:00 14:00 18:00	専用車	マングローブ植樹 OBプロジェクト視察、植林 夕食懇親会	朝：○ 昼：○ 夕：○
3 8月18日 (日)	テノム	12:00 18:00	専用車	オイスカ村訪問 学校訪問、記念植樹、懇親会 オイスカテノム研修センター着	朝：○ 昼：○ 夕：○
4 8月19日 (月)	テノム	8:00 12:00 14:00	専用車	GFP活動参加 OBプロジェクト訪問、懇親会 オイスカセンター見学	朝：○ 昼：○ 夕：○
5 8月20日 (火)	コタキナバル	9:00 13:30 15:00 18:00	専用車	移動 KPD本部表敬訪問 日本領事館表敬訪問 OB研修生との夕食会	朝：○ 昼：○ 夕：○
6 8月21日 (水)	コタキナバル コタキナバル発	9:00 22:55	専用車	島めぐりツアー 買い物、夕食 KK出発 空路韓国経由で福岡へ	朝：○ 昼：○ 夕：○
7 8月22日 (木)	仁川発 福岡着	7:15 8:35	LJ	福岡空港着、解散	朝：機内

■実施期間：令和6年8月16日(金)～8月22日(木)
【7日間】

■ご旅行代金

※最小催行人数 15 名様

※空港諸税他：福岡空港施設使用料・空港諸税・燃油付加運賃・航空保険料を含みます。

基本ご旅行代金 279,000 円

一人部屋追加料金 23,000 円

※大人・子ども同額。※税込み

※添乗員は同行しませんが、現地ガイドがお世話いたします。

■旅行代金に含まれるもの

- ・航空運賃（団体エコノミークラス）・宿泊代（2名1室）
- ・団体行動中のチップ・専用車（送迎、ガソリン代含む）
- ・食事 17 回（機内食含む）・観光ガイド・観光地入場料
- ・荷物運搬料金お一人様スーツケース 1 個の手荷物運搬料金（重量は航空バック等を含めて 23kg までが原則）

■基本旅行代金に含まれないもの

- ・旅券印紙代・任意の海外保険料
- ・お食事の際の飲料代・1 人部屋追加料金
- ・個人費用・クリーニング代・ホテルボーイ・メイドに対するチップ、その他個人的な諸費用、これに伴う税
- ・サービス料金・日程表に明示されていない観光、食事、飲料代
- ・ビジネスクラス利用追加料金

■宿泊利用施設

- ・テノム滞在 Perkasa Hotel
- ・コタキナバル滞在 Hotel Promenade

■利用予定航空会社 ジンエアー

【旅行企画】公益財団法人オイスカ西日本研修センター

ふれあいの翼 2024 マレーシア・サバ州ツアー

お申込み要領

7日間・福岡発

●旅行のお申込み

- (1) 参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAXにて九電旅行サービスまでお申し込みください。また、パスポートの顔写真のページ（コピー）も郵送、FAXにてお送り下さい。
- (2) 募集定員をオーバーする等の理由により、お受けできない場合がございます。
- (3) お申込み締切日：2024年7月19日（金）

●旅行代金のお支払い

- (1) 請求書は 2024年7月下旬にお送りさせていただきます。
- (2) お支払いは 8月9日（金）までにお振込みをお願いいたします。

旅行お申込み先

九電旅行サービス 九電産業(株)旅行部

観光庁登録旅行業第1879号 日本旅行業協会(JATA)正会員

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 北館6階

TEL.092-739-3215

FAX.092-771-0208

営業時間：09:00～17:30(平日)

URL <http://www.qdenttravel.com/>

土日祝日：定休 総合旅行業務取扱管理者：大石 亮 担当：大石

海外旅行条件(抜粋)

■募集型企画旅行契約

この旅行は(九電産業株式会社 九電旅行サービス(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。当社は、お客様が旅行日程に従って運送・宿泊その他の旅行に関するサービスの提供を受けることが出来るように手配し、旅程管理することを引き受けます。

■旅行のお申込みと契約の成立時期 当社または当社営業所にて当社所定の旅行申込書に所定の事項をご記入後、次表に記載した申込金を添えお申込みいただきます。

申込金は旅行代金をお支払いいただくときに、その一部として繰り入れます。また旅行契約は、当社らが契約の締結を承諾したときに成立するものといたします。

旅行代金	お申込み
10万円未満	代金の20%～旅行代金まで
10万円以上30万円未満	20,000円～旅行代金まで
30万円以上50万円未満	30,000円～旅行代金まで
50万円以上	100,000円～旅行代金まで

■旅行契約の解除・払い戻し

お客様は次表に記載した取消料(おひとり様につき)をお支払いいただくことにより、

いつでも旅行契約を解除する事が出来ます。ただし契約解除のお申し出は、お申込み店の営業時間内にお受けいたします。

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目にあたる日以降～31日目にあたる日まで	無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降～15日目にあたる日まで	旅行代金が30万円以上/10万円
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって14日目にあたる日以降～3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の50%
旅行開始後または帰国後不参加	旅行代金の100%

参加申込書

2024年8月16日出発			ツアー名：公益財団法人オイスカ西日本研修センター ふれあいの翼2024サバ州ツアー(福岡発)			
ふりがな			生年月日	国籍	性別	婚姻
パスポート記載のローマ字			昭・平 月 年 (西暦 日 年) (才)	日本	男	未婚
お名前			その他	女	既婚	
ふりがな						
現住所	〒		携帯			
			TEL			
	e-mail		FAX			
勤務先 または 学校名	会社名					
	学校名					
	所属・役職	TEL				
	住所	〒				
		FAX				
ご旅行中の 連絡先	お名前	ご関係		TEL		
	住所			FAX		
旅行代金請求書など書類の送付先			勤務先 ・ 現住所			
パスポート番号			パスポートの有効期限			
お部屋について (ホテル5泊)		<input type="checkbox"/> 一人部屋を希望する ※別途追加代金 が必要です		<input type="checkbox"/> 部屋 様と同部屋希望		
【備考】						